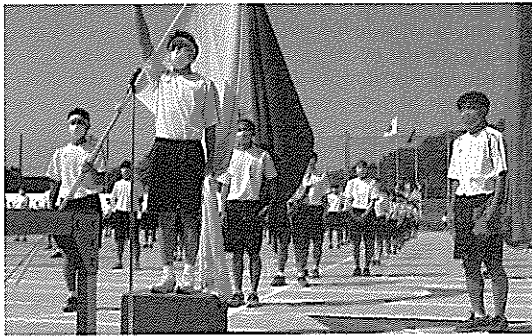


CLIPPER

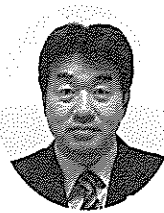
快速艇 No.127 2022 令和4年2月28日



結びとなりますが、広報誌の名前CLIPPERは19世紀に活躍した快速帆船です。従来の帆船よりマストや帆の数が多く「あらゆる風」を掴みながら大海原を駆け抜けた「時代の先駆け船」でした。生徒の皆さんが培った国際感覚で「あらゆる風」を掴み、この難しい時代を切り開いて行く事を願っております。

PTA関連では人数を制限しながら県大会が開催され、全国大会は初めてYouTube配信による開催。また北信越大会は伏木高校による誌上発表も行われました。一方生徒達の活動も少しずつ戻り、夏の高校野球や吹奏楽定期演奏会など、私も拝見する機会を頂きましたが、困難な状況の中やり終えた生徒達が涙する姿に胸が熱くなりました。

伏木高校においても海外友好校からの受入れや海外語学研修の実施を見送らざるを得ない状況となり、学校行事も感染状況に翻弄される形となりました。ただ今年度は感染防止対策に知恵を絞り、様々な行事が開催された事は希望の光を見出す機会になったと思います。



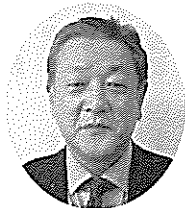
CLIPPERの様に荒波を駆け抜ける

PTA会長 九沢 謙一

平素はPTA活動にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。新型コロナウイルスによるパンデミックは、私たちの環境を大きく変えてしまいました。

心のこもったコミュニケーション

校長 亀井 隆之



PTAの皆様には、日頃から本校の教育活動に対し、温かいご理解とご支援に深く感謝申し上げます。5年ぶりに伏木高校へ再赴任しました。標高22mに建つ広い校舎。階段や廊下から見える富山湾と立山連峰は相変わらず絶景で、敷地にある46本の桜は見事に咲き誇っていました。素晴らしい学習環境は、とても懐かしく思いました。当時、映画「ナタージュ」の撮影が行われ、松本潤さんや有村架純さんが来校されたことを思い出します。今年度も連続ドラマ「君に届け」(原作・椎名軽穂)の撮影があり、不思議なご縁を感じています。

一方で、コロナ禍により、生徒を取り巻く社会環境や学校生活は大きく変わっています。期待されている国際交流活動は、残念ながらできない状況にあります。また、友情を深め、生徒と先生が共働する学校行事やボランティア活動、部活動も制限されています。感染予防のためのマスク着用は、顔が半分隠れ、表情が見せられない見えない状態となっています。

さて、マスクを着用すると感情を表現するのは、主に目となります。昔から「目は口ほどにものを言う」と言われますが、実際、日本人は相手の感情を読み取る際に目を重視するそうです。それに対し、欧米人は口元を重視するそうです。日本人はサングラスをかけている人を少し怖いと感じますが、欧米人は口元を覆っている人を奇妙だと感じるようです。心理学者によると、コミュニケーションは「言語情報7%、聴覚情報38%、視覚情報55%」で構成されているとのこと。例をあげれば、真剣にお願いしなければならぬ状況で、笑いながら小声で「お願いします」と言っても、当然本意は相手に伝わりません。言葉そのものよりも、視覚、聴覚を用いたいわゆる非言語コミュニケーションが、いかに多くの情報量を持ち、正確に物事を伝え、相手の思いや感情を読み取る際に重要であるかということに気づかされます。

これからは、話し手は口元が隠された分、それ以外の要素で相手に気持ちを伝えようとし、聞き手は口元以外の情報から、相手の心情や本意を読み取るうとすることが必要不可欠だと考えます。コロナ禍において、より円滑な人間関係を構築できるよう、相手の気持ちを敏感に感じ取り、心のこもったコミュニケーションを意識しなければならぬという思いを新たにしています。

Our New Stage

私たちの
新たな
段階へ

第74回 体育大会

令和3年6月10日(休)

● 体育大会結果

| | | |
|---------|-------|-------|
| 総合 | 1位 赤団 | 2位 紫団 |
| 競技 | 1位 赤団 | 2位 紫団 |
| 応援 | 1位 紫団 | 2位 黄団 |
| デコレーション | 1位 赤団 | 2位 紫団 |

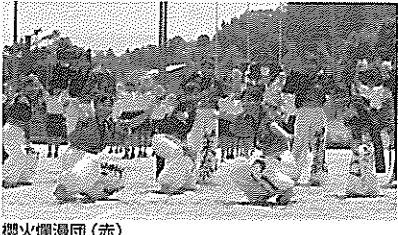
【竜騰虎闘(黄) 団長】

31H 野瀬 駿栄

私は、体育大会で黄団の団長を務めました。今年の体育大会は、新型コロナウイルスの対策を積極的に取り入れた、例年とは違った形の体育大会で、うまく成功させることができるとも不安でした。はじめは、あまり意見をまとめることができませんでした。しかし、団長として練習のときに自らが積極的に声を出したり、てきぱきと動くことで、団員のみならず、そのように動いてくれるようになり、うまく団がまとまりました。



竜騰虎闘団(黄)



櫻火爛漫団(赤)



獅紫奮迅団(紫)

その結果、例年とは違う形で行われ団結力が試される体育大会で、一致団結して、「四冠」という目標に団員みんなで向かうことができました。

結果としては「四冠」という結果には結びつきませんでした。この体育大会を通じて、仲間の大切さ、協力することの大切さを学ぶことができ、仲間の大切さ、協力することの大切さを学ぶことができました。仲間の大切さ、協力することの大切さを学ぶことができました。

【櫻火爛漫(赤) 団長】

32H 沢田 温音

私は体育大会で赤団の団長を務めました。今回の体育大会は新型コロナウイルスの影響で開くことが難しい状況でしたが、どのようにしたら感染防止になるかを考えてくださった先生方や、それを守ってくれた生徒の皆さんのおかげで

例年通りの体育大会ではありませんでした。本当にありがとうございました。

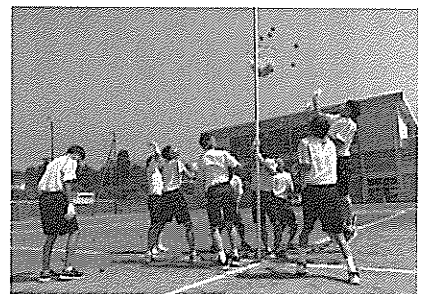
団長を務めたことで普段の生活では体験できないことが多くあり成長することができました。団長は常に誰かとコミュニケーションを取り続けなければならぬ立場だったので自分のコミュニケーション能力を伸ばす良い機会になりました。赤団は競技の部、デコレーションの部、総合の部で一位を取ることができました。目標だった四冠には届きませんでしたが三冠を取ることができました。これは赤団の全員が一致団結した結果だと思っています。このメンバーで三冠を取ることができて良かったです。最高の体育大会でした。

【獅紫奮迅(紫) 団長】

33H 片山 樹

今年の体育大会は新型コロナウイルス対策が最も重視される中で行われました。私は、団長として、「新型コロナウイルス対策」と「団の士気を高める」の二つのことを常に考え行動しました。

私達の団では、応援に力を入れて活動を行っていました。しかし、例年の様には、新型コロナウイルスの影響でできませんでした。制限された中で、どのようにするとベストなのかを毎日、団リーダー全員で考えました。そのような事が功を奏し、結果として応援の部一位を取ることができました。団のリーダーは勿論、一、二年生の協



1学年種目 玉入れ



3学年種目 タイヤ奪い

「体育大会での経験」

前期生徒会長 33H 宮ヶ 巧

私は、前期生徒会長になる際に体育大会を盛り上げることを公約の一つとして掲げました。前期の一大イベントである体育大会は例年通りに実施することができましたが、常時マスクの着用など多くの感染症対策がされました。中でも生徒達が楽しみ、盛り上がり、学年を超えた結束力を高めてもらえるために、生徒会主催競技ではどんな事を企画すれば良いかなどの話し合いを何度も重ねました。企画、準備にあたって多くの失敗もあり、その度に何度も話し合い生徒会全員で協力し、体育大会を盛り上げることができ、無事成功することができました。生徒会全員で協力して体育大会を成功に導くことができたこと、自分達で企画したものを生徒達が楽しみ体育大会を盛り上げることが出来たことは私にとって最高の思い出となりました。思いがけないことやたくさんの方の困難もありましたが、これからの生活では、前期生徒会で得た素晴らしい経験を活かしていきたいです。

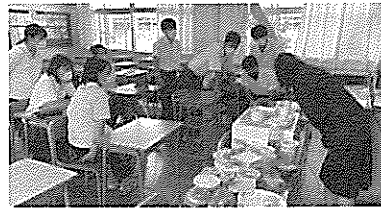


躍動

職業人講話

進路指導部長 細口 真弓

七月三日、一、二年生全員を対象に職業人講話が行われました。保護者やOBの方々に講師にお迎えし、十講座を開催することができました。



生徒たちは、講師の方々から仕事に就かれたきっかけや働き甲斐・苦勞話などをうかがうことにより、自己の将来を鑑み、働くことの意義を考える充実した時間を過ごすことができたのではないかと思っております。勤労観・職業観の形成・確立を図るキャリア教育の一環として多くの方々のお力添えをいただきました。ここに厚く感謝申し上げます。

22H 喜田 恭乃

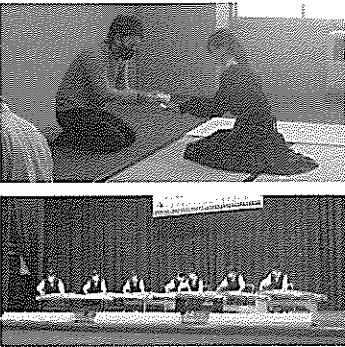
今年度の職業人講話では、私は旅行会社の講話に参加しました。講話では観光業界だけでなく全ての業界で英語力が必要になってくるとお聞きしました。そのため英検などの資格取得にも積極的に挑戦していこうと思えました。さらに本校では外国語の学習に力を入れており、英語だけでなく第二外国語も学ぶことができるため、高校生の間により多くの言語力を身

につけ、進路先や就職先で活かしたいです。

文化祭

後期生徒会長 22H 片口 萌花

今年の文化祭は、昨年と同様三密にならないための徹底や、人数制限などを行った上での文化祭となりました。また、感染拡大防止のために一ヶ月開催が延期になったり、食事の提供も自分たちが調理していない食品の販売になったりと、様々な制限の元で生徒全員が楽しめる文化祭にしなければなりませんでした。生徒会執行部の皆とどのようにしたらコロナ禍の中で盛り上がることができるかということを前提にたくさん協議を重ね、二部鑑賞に分けてのステージ発表を企画しました。生徒や先生方の協力や支えがあり、無事に大盛り上がりで文化祭を締めくくることができました。この文化祭の経験は間違いなく私の成長に大きく繋がったと思います。この成長を次に繋げられるように精進していきたいと思えます。



吹奏楽部定期演奏会

吹奏楽部部長 角木かおり

今年は昨年に引き続き新型コロナウイルスの影響でマスクを着用し、座席の間隔を空けて十分に感染対策をとった上での開催でした。多くの方に協力していただき無事に定期演奏会を開催できたことをとても嬉しく思います。私たちは「自分たちも聴く人も楽しい演奏」を目標としながら、部員同士で声をかけあって日々の練習に取り組みました。私たち吹奏楽部は部員が計8名と少なかったため楽器を掛け持ったり、足りないパートを補ったりして、試行錯誤しながら曲作りに励みました。そして新しい試みとして、自分たちで日々の練習風景などを写真で撮りスライドショーにまとめたものを来場してくださった方に見てもらったり、曲に合わせて衣装を変えたりなどお客さんを楽しませるためのパフォーマンスをたくさん行いました。本番はお密さんに最高の演奏とパフォーマンスを届けることができたと思います。家族や先生方、賛助出演してくださった楽団の方々などたくさんの方に助けられて定期演奏会を行うことができました。本当にありがとうございました。



卒業に寄せて

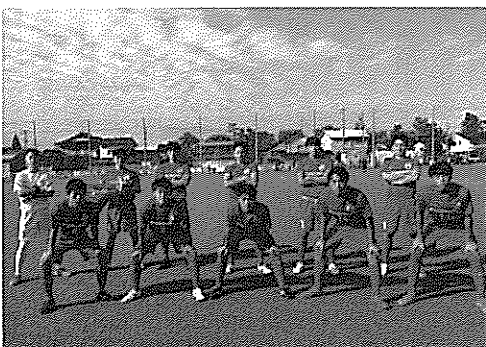
● 未来を担う74期生の皆さんへ

三学年主任 渡部 美佳

コロナ第六波が凄まじい勢いで猛威を振るう中、卒業というこの晴れやかな日を迎えました。振り返れば、休校や学校行事の中止、制限が余儀なくされた高校生活。三密回避、ソーシャルディスタンス、黙食といった新しい生活様式は、今まで体験したことのない学校生活をもたらしました。そうした非日常的な中でも、皆さんはその時の精一杯で学習、部活動、学校行事などに積極的に取り組み乗り越えてきました。そして自分の進路を見出し、今新たな一歩を踏み出そうとしています。その運

● 成長
三学年代表 山田 悠希
喜びと緊張の中で行われた入学式から三年が経ちました。伏木高校では、沢山の人と出会い、貴重な経験を積むことができました。サッカー部やホームステイ受け入れなどの様々な活動は私にとっても大切な学びとなりました。日々の努力や異文化体験のおかげで、さらに自分自身を成長させることができたと思います。

この三年間は、楽しいことも辛いこともありましたが、私にとってかけがえのないものになりました。このような素晴らしい経験を重ねることができたのは、多くの方々の支えがあったからです。この感謝の思いをこれからも大切にしていきたいです。また、今後様々なことに挑戦し、目標実現に向けて絶えず努力していきたいです。



PTA活動報告

総務委員会 上田 美香

「活動を振り返って」

今年度もコロナ禍ということで、子どもたち、PTA共に活動に制限や規制があり、十分な活動を行うことができません残念な1年でした。PTA広報誌「CLIPPER」も年2回の発行を通して皆様に伏木高校の活動をお伝えしてまいりましたが、今年度も年一回の発行となりました。

その中でも体育大会や文化祭など学校行事や学校生活の様子を会報を通してですが、理解していただき、今後の活動が通常に戻った際の参考にしていただければ幸いです。

この度原稿依頼に快く引き受けて下さいました皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。今後とも皆様のご協力をお願いいたします。

進路指導委員会 森永美由希

「活動を振り返って」

コロナ禍で始まった今年度、進路指導委員会の活動は、年に一回の職業人講話への講師の募集や当日のお世話です。準備にご苦労された先生方、お忙しいところ講師として来てくださった方々、お手伝いの委員の方々には大変感謝いたします。進路選択に必要な情報や、働くことの意味を講師の生の声で聞ける機会はとても貴重です。

ご支援下さる先生方、指導して下さい

さる役員の皆様方のご協力に深く感謝するとともに、今後とも皆様のご協力の程何卒よろしくお願いいたします。

生活指導委員会 村 政美

「活動を振り返って」

今年度は、六月に「さわやか運動」(あいさつ、交通安全)の活動を行いました。生徒達は、コミュニケーションづくりの基本がしっかりと身に付けていました。また、安全に努めて、ルールを守り伏木高校生のマナーが取れていました。保護者の皆様も活動の一環として安全のご協力を宜しくお願い致します。

次年度は、是非「伏木けんか山祭り巡回指導」の活動が出来る事を願

たいです。

保健厚生委員会 片田 由香

「活動を振り返って」

保健厚生委員会では子供達が健康で安全な学校生活を送れるように活動しています。本年度は昨年度に引き続き新型コロナウイルスの影響により制限され、「伏木十間道路クリーン大作戦」は、できませんでした。早くコロナがおさまり、いろいろな活動ができる日が来ることを願います。

保護者や地域の方々にも協力して頂きながら学校周辺の環境整備と美化を進め、子供達と安全に交流できる活動を行いたいと思います。

今後とも皆様のご協力、宜しくお願い致します。

国際交流委員会 市野 則子

「活動を振り返って」

国際交流委員会の活動として、本来なら友好校からのホームステイの推進や、七月には友好校からの学生を迎える予定でしたが、前年度に続き、今年度もコロナ禍においての国際交流の開催が中止となり、PTA役員の一員として活動出来なかつた事は残念でなりません。

他国の生徒と交流が出来る特色ある伏木高校に、いつの日か、他国と本校の生徒達が賑やかに交わり、学校生活においても充実した日々来る事を願っています。

行事予定

- 3/2(水) 卒業式
- 8(火)・9(水) 高校一般入試
- 4/8(金) 始業式・入学式
- 6/9(木) 体育大会

あとがき

近年、新型コロナウイルスの流行で行事の突然の変更や縮小、オンライン化が進みました。先生方や生徒の皆さん、また保護者の方につきましても、立てても立てても変更を余儀なくされる予定に戸惑われたのではないのでしょうか？

そのおかげで経験できた事を、新しいスキルとして今後にかしていかしてほしいと思います。今回広報誌「CLIPPER」発行にご協力、ご尽力いただきました皆様、ありがとうございました。(総務委員会一同)

大会記録

- 令和3年 富山県ジュニアソフトテニス選手権大会
 - 女子個人戦Bグループ 1位 13H 高田 響楓
- 令和3年度 富山県高等学校新人大会 サッカー競技
 - Aブロック 優勝
- 第43回 ふれあい書道展
 - 特選 31H 高木美優菜
- 第32回 富山県高等学校日本音楽演奏会
 - 日本音楽部門 優秀賞 琴部
- 第63回 富山県小・中・高校生書初大会
 - 推選 13H 河合 唯香 21H 三島 大雅
 - 特選 13H 門 玲杏 13H 堤 美咲
 - 13H 弓部 真央
- 第22回 北陸地区高校生中国語発表会
 - 中上級弁論部門 優良賞 21H 寺井 浩野

進路状況

(延べ人数) R4.2.1 現在

〈国立大学 / 9名〉金沢(1)、富山(2)、富山県立(2)、都留文科(2)、新潟県立(1)、長野(1)

〈私立大学 / 28名〉立命館大学(1)、北陸大学(3)、富山国際大学(3)、日本福祉大学(1)、中部大学(1)、大谷大学(1)、新潟国際情報大学(1)、新潟医療福祉大学(4)、高岡法科大学(1)、金沢星稜大学(2)、金沢工業大学(5)、金沢学院大学(4)、愛知大学(1)

〈短期大学 / 22名〉富山短期大学(7)、富山福祉短期大学(10)、金沢学院短期大学(3)、北陸学院短期大学(1)、戸板女子短期大学(1)

〈専門学校 / 38名〉専門学校金沢美専(1)、富山自動車整備専門学校(1)、富山情報ビジネス専門学校(9)、富山理容美容専門学校(3)、富山リハビリテーション医療福祉大学校(2)、富山県技術専門学院(3)、富山外国語専門学校(2)、高岡看護専門学校(1)、金沢医療技術専門学校(1)、白井美容専門学校(1)、国際調理専門学校(1)、富山県立雄峰高等学校(1)、スーパースイーツ製菓専門学校(1)、富山大原簿記公務員医療専門学校(2)、高岡第一学園 幼稚園教諭・保育士養成所(2)、専門学校金沢リハビリテーションアカデミー(1)、富山クリエイティブ専門学校(1)、大原医療福祉製薬&スポーツ専門学校(1)、北陸ビジネス福祉専門学校(2)、金沢ウエディング・ビューティー専門学校(1)、国際ペット専門学校(1) 他

就職 / 9名

日本郵政株式会社北陸支社(2)、株式会社あきんどスロー(1)、BBSジャパン株式会社(2)、株式会社古城モーターズ(1)、救急薬品工業株式会社(1)、TFBファクトリーズ株式会社(1)、電元社トア(1)